

【事務局からの重要なお知らせ】

2021 年大会の現地開催方針について

コロナ禍が終息せず、全国で大学施設の借用が困難な状況が続いていることは、皆さま、ご承知の通りです。このため、2020 年大会（甲南女子大学）はいったん中止として、来年度に延期しないこととします。さらに荒井会長を中心に常任・全国幹事会でメール審議を重ねた結果、**2021 年大会については事務局が北海道（札幌市・江別市）の公共施設にて現地開催することで意見の一致を見ました。**

この経緯について、簡単にご説明いたします。

①そもそも 2020 年大会の開催を断念した判断（奇しくも政府の緊急事態宣言が 7 都府県に発令された 4 月 7 日の決定でした）の決め手は、事務局がプライベートで「感染症は正規分布的にしか終息しないため、医学関連学会は秋まで全て中止となっている」という医学的なアドバイスを受けたことでした。我々素人は医学者の判断に従うべきということで、吉川会長（当時）も迷いなくご決断下さいました。今回もそれと同様、「秋以降、医学関連学会は「現地開催+Zoom 等によるハイブリッド開催」の形で大会を再開している」との情報を得たことが現地開催の検討を開始する契機となっております。

②加えて、当学会の大会は「資料見学会」を開催することに最大の特徴があります。「遠隔による研究発表+機関誌発行」に漕ぎ着けたところで、2020 年度よりマシではありますが、それだけでは教育史学会のミニチュア（劣化コピー？）の域を出ず、存在意義は大きく減殺されたままです。この点も考慮しながら慎重に検討を重ねた結果、現地開催の障壁が会場の問題だけであるなら小規模学会の特性を活かして公共施設の会議室を借用すればいい、資料見学会は野外での開催を考慮すればいい、という方向で議論がまとまったものです。

すなわち、2020 年大会の中止も、2021 年大会の現地開催も、無根拠に空気に流されたわけではなく、社会情勢と医学的なアドバイスを踏まえて判断したものです。今後も、適宜、常任・全国幹事会でメール審議を開催し、慎重に作業を進めてまいります。あわせて、前例のない事態ですので、会員の皆さまからもお知恵を拝借したく、ご意見ご質問は随時承ります。

現在、事務局では常任・全国幹事会の決定を受け、以下の方針で準備に着手しており、既に会場となる会議室は確保済みです。詳細が決まり次第、改めてご案内を差し上げるとともに、公式 HP にも掲載します。それをご覧いただいた上で、感染リスクについて各会員がご判断いただければと思います。

- ・ **日程：2021 年 5 月 29 日(土) 資料見学会：北海道立文書館・北海道立図書館北方資料室（江別市）**
5 月 30 日(日) 研究発表・シンポジウム・総会：札幌エルプラザ（札幌市）

- ・ 資料見学会について。従来、北海道庁赤れんが庁舎内にあった北海道立文書館が 2020 年 10 月、札幌市に隣接する江別市の北海道立図書館の別館（新築）内に移転し、同じフロアに移転してきた北方資料室とカウンターを並べるようになりました。こちらの施設・資料をご覧いただく予定です。なお、感染状況等により臨時閉館となった場合は、近隣の野外博物館「北海道開拓の村」（札幌市）

に変更する可能性があります。

- ・研究発表・シンポジウム・総会の会場となる「札幌エルプラザ」（正式名称：札幌市男女共同参画センター）はJR札幌駅北口に隣接しており交通至便、周辺にはホテルが林立しております。このことから、感染リスクを減らすための最適解と考えております。
- ・シンポジウムについて。2020年に予定していた内容は、近い将来、コロナ禍が終息した際に改めて甲南女子大学（軽部勝一郎幹事）のお手を煩わせる時のために寝かせておき、北海道に関係した内容へ変更できないか、シンポジウム担当の吉野剛弘幹事にご検討いただいております。
- ・医学関連学会のような「現地開催+Zoom等によるハイブリッド開催」については、残念ながら事務局の能力を超えるため、現段階では予定しておりません。しかし、PC熟達の会員がボランティア的に取り仕切って下さるなら是非お願いしたいと思いますので、腕に覚えのある方は事務局までお知らせ下さい。
- ・当然ながら、感染状況によっては2020年度と同様に大会中止とするほかありません。その際には、前例に従い、研究発表をエントリーされていた会員に『地方教育史研究』の投稿権を付与することになります。エントリー予定の皆さまは、ご安心の上、準備をお進めください。

会員名簿について

2020年12月1日現在の会員名簿を作成しました。当該会員より「非公表」と指示のあった事項の全てを、それ以外の会員についても「メールアドレスへの送付不可」として登録されている場合はメールアドレスを、それぞれ空欄としています。記載事項に誤記・変更がありましたら、事務局までお知らせ下さい。また、個人情報ですので、データの取り扱いにはご注意ください。

会費納入のお願い

本年度は大会を開催できなかったため、皆さまにゆうちょ銀行口座への会費納入をお願いしておりますが、例年に比べると極めて低い納入率にとどまっております。今回、未納年度のある方には、その旨の通知と払込取扱票を同封してあります。ご不明ご不審の点があれば、至急、事務局までお知らせ下さい。

なお、来る2021年度は、大会開催後の5月中に事務局移転（北海道教育大学→東洋大学）が控えております。新事務局長（須田将司幹事）のご負担を可能な限り軽減するため、皆さまには是非お早めの納入をお願いします。

納入の際、ネット決済の「ゆうちょダイレクト」をお使いになる方は、払込取扱票は不要ですので破棄してください。ゆうちょ銀行・郵便局の窓口・ATMで納入される方は、それぞれ所定の手数料が必要となりますが、ATMが若干安価です。

全国地方教育史学会 事務局

〒002-8502

札幌市北区あいの里5条3丁目1-5 北海道教育大学 三上敦史研究室内

TEL/FAX 011-778-0380

e-mail mikami.atsushi@s.hokkyodai.ac.jp

学会ホームページ（2020年4月1日より変更） <http://w3.waseda.jp/assoc-zckyoiku/>
